



# 北部教育研修センター

(北部教育研修センター実証実験事業)

## センターだより第5号

2019年9月20日(金)

沖縄県名護市字為又 1220-146  
北部教育研修センター

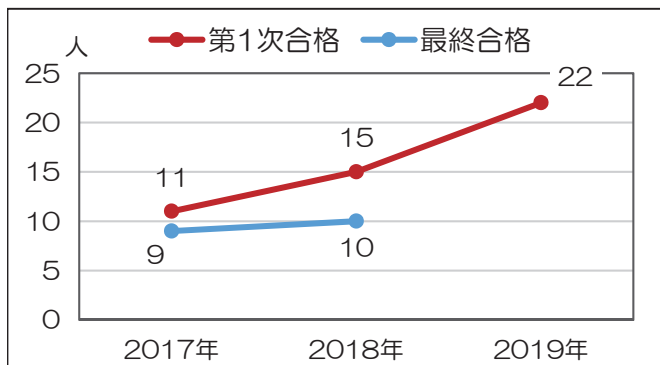
発行責任者  
センター長 高安美智子

長い夏休みが終わり、活気あふれる2学期がスタートしました。北部教育研修センター実証実験事業は、2年目の前期日程を終了いたしました。本事業は、北部12市町村が一丸となって北部地域の児童生徒の「確かな学力」の向上を目的として、「教員の授業力向上研修」及び「教員養成講座」という二本柱で取り組んでいます。

「教員養成講座」は、平成29年度に始まった「北部教育職員養成講座」を引き継ぎ、今年度は3回目の「教員候補者選考試験」を迎えました。8月中旬に第1次選考試験の合格発表があり、県内15名、県外7名の22名が第2次試験に挑戦しました。本講座は年々成果を上げており、さらに北部出身の教員採用者が増えることが本地区の課題改善に大きく寄与するものと期待しております。また年々名桜大学現役生の合格者が増えているのも大きな成果です。10月の最終合格発表に期待しています。

教員の授業力向上研修事業では、毎回示唆に富んだ講演と主体的、対話的で深い学びのスーパーティーチャーによる公開授業で参加者から高い評価を受けています。また、本地区の現場で活躍している先生方の合同授業や実践報告等、参考にして欲しい発表が多くありました。積極的に参加しましょう。

### 《教員候補者選考試験の合格者数の推移》



|          | 2017 | 2018 | 2019 |
|----------|------|------|------|
| 県内 1 次合格 | 10   | 10   | 15   |
| 県外 1 次合格 | 1    | 5    | 7    |
| 第1次合格者計  | 11   | 15   | 22   |
| 最終合格者計   | 9    | 10   |      |
| 採用者数     | 9    | 10   |      |

### 《実証実験事業における研修参加者数》

●4月から8月までの研修参加延べ数は、615名でした。多忙な中、3回参加している教員もいます。参加した教員ほど授業改善に熱心で意欲がさらに高まり、教員の授業改善への取組の二極化が懸念されます。

★2019年度後期の教員養成講座は、11月7日(木)に開講予定です。当センターのホームページで確認してください。なお受講料は無料ですが、全国模擬試験等は、自費で受験必須となっています。

本事業は、実証実験事業のため効果測定とその成果が求められています。しかし、「成果は直ぐに表れるものではない」という声も聞かれます。果たしてそうでしょうか。児童生徒の学習評価は毎学期行われています。子ども達と信頼関係を築き、ともに努力している教員による指導は、子どもたちの学力向上に日々繋がっていると考えられます。そのため、校内研修等を通して教員同士の学び合いを深め、教員の授業力を高める努力をして成果を上げている学校もあります。

学力には、知識や技能などの測定可能な認知能力と、意欲や思考力、判断力などの非認知能力があります。学習評価は、観点別評価で両方の能力を見取り評価することが義務付けられています。また、認知能力と非認知能力は関連して向上するものであり、力量のある教員の指導では、その両方の視点が相乗的な効果を上げ、主体的、対話的で深い学びを展開しているものと思われます。

勤務時間内の研修だけでは間に合わない、スーパーティーチャーなどの研修の機会を増やして欲しい、という要望を受けて取り組むことになったのが、本センターの実証実験事業です。これからの社会を担う子どもたちに生涯にわたって学び続ける力を育むために、管理職も含めて教員が学び続けなければ、変化の激しい社会を生き抜く子どもたちの教育は難しくなっているのが現状です。

## 2019 年度研修報告

## ◆「公開授業 DVD 視聴&amp;授業づくり」学習会

5月28日(火) 会場：北部生涯学習推進センター  
テーマ 学力と学習支援の心理学

『習得の授業デザイン』

授業者：市川伸一（東京大学教授）他 T.T.授業

授業：小学校5年の教材 ①算数「合同」

②国語「『大造じいさんとガン』の

あっぱれをまとめよう！」

## ● 意味理解：知識の関連づけを大切に

断片的な知識や解法の機械的暗記からの脱却  
「そもそも(定義)」「なぜ(理由)」を考える習慣

## ● 失敗活用：間違いを活かしながら学ぶ

なぜ間違えたのか、何に気づかなかったのか(教訓帰納)  
失敗は、自分の学習改善のための貴重な情報源

## ● メタ認知：自分の理解状態や学習方法をつみつめる

理解診断の方略としての説明活動

この授業でわかったことは何か(自己評価)

＜参加者の感想から＞ 参加者 10名

- ・スキルも大切だが言葉を大切にしていきたい。  
「自分ごととして考える」この言葉を大切にします。
- ・算数での「活動、教える、考える」を関連させて授業の組み立てを考えていきたい。国語でも色々な展開を知ることができた。「言葉」大切に。
- ・問題解決に視点を当てがちですが、“考えるべきこと、考えさせること”の重要性を改めて感じました。
- ・今回の研修を通して、私たち教員がしっかりと教えるために“定義を知っておくこと”、“何をどう教えるかをしっかり計画しておくこと”が大切だと感じました。
- ・問題解決型の授業ばかり考えていた私にとって、教えて考えさせるは新しい発見となりました。用語を教えてから入ると、苦手な子も救えそうな気がしました。さらに応用問題まで解けると得意な子もやる気が続くのかと。「教えるところを組み立てて授業づくりをしたい」
- ・まずはやってみたいです。その後の課題や成果について校内研でも活かしていきたいです。



## ◆「公開授業 DVD 視聴&amp;授業づくり」学習会

6月18日(火) 会場：生涯学習推進センター

授業者：菊池省三（教育実践家）

授業：天底小学校の国語の公開授業

『詩で遊ぼう』



＜参加者の感想から＞ 参加者 10名

- ・子どもたちへかける言葉の一つ一つがとても具体的でやる気に繋がっていました。子供たちが安心して過ごせる場所づくりは教師の言葉かけ一つで大きく変わると考えさせられました。明日から実践していきます。
- ・学級経営の大切さ、認めることの大切さ、交流は知識を伝達すると同時に伝えたいという意欲を持たせる場にする。
- ・具体的に指示・・・拍手、挙手等具体的に指導する。自己肯定感の持たせ方、発表しやすい雰囲気をつくる。(授業にスピード感がある。)
- ・ライブで見ることも大切だと思いますが、今回のように事後に映像で振り返ることにより深く、学ぶことができました。その場では気づけなかったことが気づけました。
- ・今回のような、スーパーティーチャーの授業を映像で振り返り、学ぶ機会を作ってくださいがあればありがたいです。
- ・即明日からやってみようと思いました。教師もその気にさせる授業ってすごいです。人間性を活かした授業(教室経営)をしていきたい。





## ◆保育士・幼稚園教諭研修会

6月2日(日) 14:00~16:30

会場：名桜大学多目的ホール

(1) 講演 参加者数 104名

講師：園原 實(国頭村教育長)

演題：「いつも子どもがまんなか

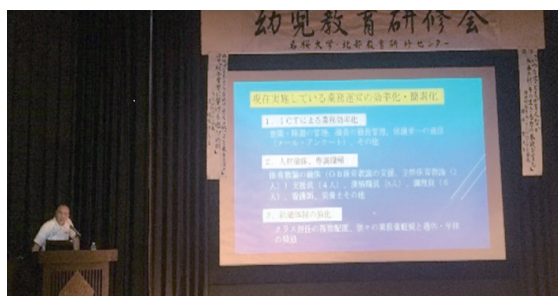
～未来の担い手の生きる力の基礎を育む～」

[内容] 幼保連携型認定こども園「国頭村立くにがみこども園」の概要、職員組織、業務改善、運営上の課題等「保育の質」を高めるために努力している点を紹介し、特に力を入れている「ESD 教育」と「学びの共同体」の理念について、説明がありました。



### <参加者の感想より>

- ・認定こども園についてもっと聞きたかった。色々な事に対して見方が変わった。子どもと対話し、新たな事に気付ける人でありたいと思う。
- ・園を開設、運営するにあたり組織を作っていくことの大切さ、方向性を揃え子どもの為によりよい保育をするための理念等を共有できるように工夫された職員配置等、詳しくわかった。実際の保育の場面でやってみようと思える実践例がありとてもよかった。
- ・園原先生の勤められているこども園には、職員の数が多く充実しているのかなと感じました。日々、保育している中、おやつ後や給食後の片づけに追われる子ども達に目が行き届いていないと感じますが、用務員を入れて片づけをして頂けるという事は、子ども達の安全が保たれ良い事と感じました。



## (2) 講演・演習

講師：立川有希子(保育コンサルタント)

[内容] 「社会人基礎力」を例とした、幼稚園、保育所から小学校教育への円滑な接続に資する就学前基礎教育の取組についての講話でした。演習では生活・数量・形・位置関係・言葉といった、遊びの中で実施できるプログラム例の紹介がありました。



### <参加者の感想より>

- ・幼児教育は人格形成の根幹をなす。(育ちの根っこ、土台づくりの大切な時期である。) 幼児期の終わりまでに育ってほしいことに個々の足りない部分をどう増やしていくか丁寧に関わることの大切さを実感しました。
- ・学習の前倒しや先取りではなく、子ども達の生きる力を身につけられるよう、その子の先の思い出と人生につなげられるような育ちを目指したいです。
- ・変化する社会に対応できる子供達、主体的に関わる子供達に育てていけるように遊びを通していろんな環境を整えていければと思いました。
- ・就学前の子供達の育ちが大人になった時、大きな影響がある事を再確認しました。明日からの保育、1つ1つ気をつけて子供達と楽しくやっていきたいと思いました。
- ・保育の質を高めるには研修に積極的に参加し、学んだことを実践できるようにしたい。
- ・「社会人基礎力」は、大人の私たちにも必要なことでもあるし、生きていくためにも大事なことでと思いました。このような力は、幼児期からの積み重ねだと思うので、現場で、あそびの中から育てられるようにしたい。教えるだけでなく、子ども自身で感じ取れるよう優しく見守っていききたいです。

## ◆スーパーティーチャー招聘

## 1. 教育講演会&amp;公開授業

講師：小玉宏（元宮崎県教育委員会指導主事）

| 期日  | 会 場         | 参加人数 |
|-----|-------------|------|
| 7/1 | 今帰仁村立今帰仁中学校 | 36 名 |
| 7/2 | 金武町立金武中学校   | 16 名 |
| 7/3 | 伊平屋村立伊平屋中学校 | 11 名 |
| 7/4 | 伊是名村立伊是名中学校 | 11 名 |

## (1) 生徒向け講演会

[内容]高校時代の講師は落ちこぼれで、ヤンキーだったが、恩師の化学の先生に憧れ、「こんな人になりたい」と一念発起し、高校三年の半年間で勉強して、恩師の出身校である国立広島大学教育学部へ入学を果たす。その過程と教員時代のエピソードを巧みな話術で紹介し、生徒に「やればできる」という意識を植え付け、諦めず努力することの大切さを伝え、生徒を魅了しました。

## (2) 中学校理科公開授業

**導入**地球に生命が誕生し、動植物に枝分かれし、やがてカンブリア大爆発を迎えるまでを要約して伝える。

**展開**…あなたが当時の生物だったらどう生き残ろうとしたらどうか？という課題を付箋紙にできるだけ多く書き出すよう個人ワークを行う。それをグループで同じカテゴリに分類し、グループとしてのアイディアを模造紙に書き出す。

**まとめ**…各グループごとに完成した模造紙を黒板に貼り、教師の話を聞く。地球上に誕生した生物は、進化の過程で淘汰され、99%が絶滅したことを伝え、祖先に想いを馳せつつ、命のバトンをつないでいくことが生命の本質であること、進化の躍動感について学ぶ授業であった。

**授業研究会** 理科教室にて研究協議を行う。授業の意図、指導者の想い、「主体的、対話的で深い学び」に繋がる授業づくりについて意見交換と質疑応答を行う。



## 7/1 今帰仁村立今帰仁中学校



- ・「教師がその教科を好きになることが一番の教材研究になる。」という言葉が印象に残りました。
- ・おもしろいな～、すごいな～、なんでだろう？と思わせるために色々な角度からアプローチできる教員になりたいと思いました。

## 7/2 金武町立金武中学校

- ・アクティブラーニングを行うのに理科はとても取り組みやすい事を改めて学んだ。
- ・生徒に興味を持たせる発言や方法（ブレインストーミング）はよい方法だと思いました。アクティブラーニング授業のきっかけになりました。

## 7/3 伊平屋中学校理科室

- ・多くの生徒が盛り上がり、楽しく授業をしていました。
- ・子供の意見を拾う。（生徒とのキャッチボール）、やる気が出ない子供のへのアプローチ（そんな日もあるさという見守り方。）
- ・修行の言葉が心に残っています。自分が楽しむこと。個を大切に、うまくいかない時はその背景を考えてみる事。その場にいることは学習したくないわけではない。



## 7/4 伊是名中学校理科室

- ・道徳や話し合い活動でも先生の手法を活用していきたい。
- ・生徒の表情が生き生きと変化していました。
- ・進化の話の中で、植物の光合成や宇宙のオゾン層、酸化鉄といった化学式のことなど他分野の内容も盛り込まれていたため、既習内容を横断的につなげていくことの大切さ、多様な意見を出す雰囲気づくりなど参考になった。



## ◆スーパーティーチャー招聘

## 2. 教育講演会&amp;公開授業

## (1)講師：中嶋洋一（関西外国語大学教授）

「英語教育における理論と実践」

| 期日  | 会 場          | 参加人数 |
|-----|--------------|------|
| 7/7 | 北部生涯学習推進センター | 19 名 |
| 7/8 | 恩納村立恩納中学校2年生 | 43 名 |

◆英語教育で全国的に高い評価を受けている中嶋先生を招聘して、「英語教育における理論と実践」の講演会を実施しました。中学3年終了時には、全員が英語で発表し、英語で質疑応答ができるようになるという卒業時のゴールをイメージして、3年間の目標を立て、実践している学校の事例報告がありました。その方法は、中学校の英語教員が校区内の小学校の教員と連携し、小中の接続指導について目標を共有し、楽しく外国語に触れさせるプログラムの取組でした。中学3年生の発表会の様子は圧巻で、子どもの可能性を信じ、目標を高く掲げ、共に努力した指導の成果は大きな感動を与えました。

## ◆指導の実際

●中1の1学期：生徒任せにせず、全員が正しい英語の発音（th, f,v,l,r,t,d など）になるよう徹底的に指導し、生徒同士でも、「合格、不合格」が言えるようにした。

●2・3 学期・・・毎時間、英語を使って話す言語活動を必ず1つ以上入れ、「英語を使う」という姿勢を定着させた。

Q&A から、プラス1文増やし会話を続ける練習、1つのテーマで話題を広げ、1分以上チャットを続ける練習、必ず新出単語や文法を使って話す、話した内容をワークシートに書く、自己表現をノートに書く、等に取り組んだ。

●中2の1・2 学期：日々の「帯学習」プログラム  
**Listening**: タイムリーな Teacher Talk、身近な話題  
**Speaking**: Q&A、チャット、Picture describing(スライド、レポートやピクチャー)、教科書の内容のトーク  
**Reading**: 教科書の reading check、じゃれマガ、等  
**Writing**: 授業の最後に話したことや与えられたテーマ、オリジナル・スピーチ文やスキット文等

●中2の3学期：リテリング、読んだもの、話した内容のレポート、チャット時のマッピング&ピア・フィードバック、テーマ・ライティング（100語程度）

## (2)公開授業（授業者 中嶋洋一教授）

講演会の翌日は恩納中学校2年生を対象に、公開授業を行いました。講師の豊富なアイデアが随所にちりばめられた示唆に富む授業でした。音読の工夫、場面について考えさせる工夫、ペアでの活動の工夫、生徒に思考させる魅力ある教材や発問の工夫など、たくさんのヒントがありました。英語を「言語」として捉え、4技能すべての活動を演じさせる指導の方法と大切さを学びました。



## ★プロの教師の授業

- ・本時のねらい（～できる）を明確に示す。
- ・「何のため」を伝える。
- ・ねらいに迫る指導を特化する。
- ・生徒に考えさせる。
- ・自分の考えを言わせる。
- ・できたかどうかを確認できる活動、learn を確かめる活動を用意している。
- ・つながりのあるストーリー型授業

◆教師の指導力でこんなに生徒の能力が発揮できるのだと実感させられた授業でした。

## ＜参加者の感想から＞

- ・即効で英語が実際に使える様な指導例を見せていただき、大変、参考になりました。
- ・自己表現ノートをぜひ作って、生きた英語の力をつけたいと思います。
- ・「話したいこと」の内容を深めることの大切さを感じました。それを育てる方法としてのマッピング(インタビュー)をやってみたいです。ゴールを示して、子どもたちを自律的学習者にしていきたい。
- ・考え方が変わりました。すぐに使えるような活動がたくさんあり、参考になりました。
- ・具体的な指導、長期的なゴールを見据えて指導計画を立てることが大切だと思った。

## ◆スーパーティーチャー招聘

3. 8月17日「特別支援教育セミナー」

講師：栗原慎二（広島大学大学院教授）

テーマ「難しい保護者の対応とチーム支援」

会場：北部生涯学習推進センター 参加者 25 名

内容：

1. 子供と保護者の置かれている現状、子供たちを取り巻く環境、ワーキング・プアの状況を分析して説明。
2. コミュニケーションスキル
3. チーム支援  
カウンセリング→担任へのコンサルテーション中心の携帯→高密度な連携コンサルテーション→チーム支援モデル
4. 保護者対応が困難な事例

&lt;参加者の感想から&gt;



- ・ Goal をみすえて共有する。Way（方法）は、いろいろある。方法をゴールにするということなどはなくしたい。
- ・ まず研修を受けることが教員にとって、とても重要だと改めて気づかされました。
- ・ 保護者対応に関する理解はもちろんですが、具体的な手立て、スキルを事例を通して学ぶことができた。ケース会議等でアセスメントの部会で活用できそうです。
- ・ 具体的な支援について、事例を話されながらの講義、とても勉強になりました。
- ・ 本人や保護者のニーズを考えて支援者どうし、チームで共有しながら相談していくことが大切だとわかりました。
- ・ 支援チームのつくり方や Goal をもった話し合い等、とても参考になりました。

## ◆スーパーティーチャー招聘

4. 8月20日 講演会「道徳」

講師：上地完治（琉球大学教授）

テーマ「学びの場」としての道徳授業へ

～「主体的・対話的で深い学び」をめざして～」

会場：名桜大学多目的ホール 参加者：126 名

概要

1. これまでの道徳教育は何が問題だったのかー従来の道徳の授業の問題点＝子どもたちに考えさせていない（＝学びになっていない）
2. 学習指導要領にみる道徳授業改善のポイント  
物事を多面的・多角的に考える
3. 主体的・対話的で深い学びとして道徳授業を考えるー道徳は「何でもアリ」ではないので、個人の考えがそのまま道徳的な考え方にはならない。その考え方が道徳的正しさとして受け入れられるか吟味する必要がある。また、意見を練り上げるためには、自分や他者の意見に対する批判的思考が不可避である。

## 4. 子どもたちに考えさせるための手立て

- (1) 授業のねらいを具体的に立てる
- (2) 揺さぶりの発問の工夫
- (3) 教師自身の思考力

等であった。また、具体的に「心と心のあくしゅ」という題材を用いて、グループ討議を入れ、教材の内容をみんなで考える場を持った。

道徳科の授業では、柔軟で質の高い授業が求められている。



&lt;参加者の感想から&gt;

- ・ 多面的・多角的に見ることで、ものの見方を広げることこそ「問い」につながる良い機会になりました。1時間1時間の効果は少ないかもしれないが、315時間で、ぜったいに変わるだろうという思いが強くなった。
- ・ 物の見方、心の豊かさは知識として学ぶこと、知ることが必要だということに共感した。





◆臨時的任用教員研修会 7月26日(金)

会場：北部生涯学習推進センター

## ①「中・高数学」 講師：高安美智子（名桜大学教授）

テーマ「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり

内容：割合・資料の活用・正弦定理

＜参加者の感想＞ 参加者6名

- ・中学校の資料の活用では、割合が苦手な生徒がでてくると思い、原点に戻って教えることが大事だと勉強になりました。
- ・「楽しい授業」「わかる授業」を目指して精進したい。



## ②「中・高英語」 講師：渡慶次正則（名桜大学教授）

テーマ「どのような手立てで授業改善を行うかを模索し、単元の特性や指導事項に留意しながら、授業をする。」

＜参加者の感想＞ 参加者1名

- ・日頃の疑問や悩みを直接やりとりできてよかった。
- ・英語教育がどのように変化してきているのか考えが聞けて、英語教育全体のことも勉強しなくてはと感じた。

## ③「中・高国語」 講師：久高利美子（東江中学校校長）

テーマ「どのような手立てで授業改善を行うかを模索し、単元の特性や指導事項に留意しながら、模擬授業を構想する。」

言語活動の充実に焦点を当て、興味・関心を持たせる授業づくりや日頃の授業での疑問・質問等に、懇切丁寧に指導を行った。

＜参加者の感想＞ 参加者1名

- ・言語活動を設定するうえでの大切なことや仕掛ける技術や生徒をワクワクさせる方法を学びました。自分自身の相談も含めて、わからないことが解り、イメージする授業が見えてきました。

◆臨時的任用教員研修会 7月30日(火)

## ④「小学校理科」 講師：伊芸剛（大宮小学校教頭）

授業づくり：「大地のつくりと変化」の単元を構想するにあたり、名護市近隣の地層の現場を観察することでイメージを広げ、主体的・対話的で深い学びに繋げる研修であった。

＜参加者の感想＞ 参加者4名

- ・学習指導要領に重点を置き「身につけさせたい力」を明確にする必要性を改めて感じることができた。
- ・今日学んだ身につけさせたい力など四つの項目に着目していきたい。

◆臨時的任用教員研修会 8月1日(木)

## ⑤「養護教諭」 講師：荻堂かおり（名護中養護教諭）

新城敦（北部教育研修センター教員）

テーマ「担任や保健体育教師とのTT授業、保健指導を念頭に、模擬授業を構想する。」

＜参加者の感想＞ 参加者1名

- ・望ましい模擬授業の姿、評価の視点
- ・受講者と指導者の三人で保健指導の模擬授業の進め方や構想を協議し、「熱中症とその対策」について模擬授業を実施した。

## ⑥「中・高保健体育」

講師：大城正章（今帰仁中学校校長）

新城敦（北部教育研修センター教員）

模擬授業の評価の視点や沖縄県の施策である「問い」が生まれる授業サポートガイドを活用講義・模擬授業・相互評価・指導助言等

＜参加者の感想＞ 参加者5名

- ・色々なパターンの模擬授業があり、生徒理解を深めたい。自分に足りない課題を沢山知ることができた。

## ⑦「中・高社会」

講師：山入端きよみ（元校長）

アクティブラーニングの視点から、授業改善やカリキュラムマネジメントを中心に、興味・関心を持たせる授業づくりや授業展開の仕方、日頃の授業での疑問・質問等に答えるという研修であった。

＜参加者の感想＞ 参加者7名

- ・他の教師のスキルや考え方、発問等のタイミング等を勉強させてもらいました。高校での授業の視点もありおもしろかったです。
- ・一人一人の先生方にまとめまでの持っていく方に違いがあり、多面的、多角的な意見が生まれたので、教科会の大切さを改めて感じることができました。また、授業の方法にも違いがあり、とても参考になりました。今後の授業に活かしていきたいです。
- ・中学校の先生方のアイデアが多くきけてとても参考になりました。小さなことでも生徒同士でしっかり話をさせる日々の取り組みが必要だと思いました。

◆臨時的任用教員研修会 8月5日(月)

## ⑧「小学校国語」講師:小波津京子(名護小学校教頭)

国語科の学習指導要領のポイントや児童の現状、授業改善について実践事例や資料等について説明。後半は、指導案を協力して作成し、模擬授業を実際にやってもらい、意見交換を行った。

＜参加者の感想＞ 参加者2名

- ・国語の授業づくりにおける教材研究の仕方や実践事例、教材の紹介等があり、すぐ生かせるものばかりで大変良かったです。
- ・国語の言語活動を通して指導事項を学ばせるというものを具体的な事例をまじえながら説明して頂けたので、分かりやすかったです。活動を通して指導事項を学ばせることが大事だということが、とても勉強になりました。



## ⑨「小学校算数」

講師：大城寛(北部教育研修センター教員)

算数科の学習指導要領のポイントや児童の現状、授業改善について講話、その後模擬授業。

＜参加者の感想＞ 参加者4名

- ・導入や展開を考える時、まとめやつけたい力が明確になっている方が考えやすいなということが分かりました。
- ・内容や教材、場所がとても恵まれている環境での研修会、とてもありがたく思います。ゆっくりと教材について考え、授業づくりについて話し合い実践する機会はないので、とてもありがたく、人数が少ないのが少し残念です。

◆アクティブラーニング美術科公開授業

6月11日(水) 授業者：田仲浩美(国頭中学校教頭)

テーマ：美術を通して豊かな暮らしへつなぐ  
～日本文化と仏像を学ぶ～

領域:A デザイン、B:鑑賞:郷土の美術文化・日本文化

場所：大宜味村立大宜味中学校 美術教室



＜参加者の感想から＞ 参加者9名

- ・沖縄の文化と仏像とどうつなげるのか疑問だったが、学びの在り方が何となく見えた気がします。生徒も多角的な面から学んでいる様子が見えました。色々先生方の情報が聞けて良かった。
- ・パンフレットを使って美術と結び付けていた。修学旅行を控えている三年生には事前学習になるため、良いと思った。グループ学習が多かった。美術は個人製作、制作発表はあるが作品や制作について調べ学習はあまりない印象があった。アクティブラーニングを活かせることができればと思う。
- ・横断的な取り組みの流れや指導の細かい声掛けを学べました。

◆「小学校夏期英語研修会」

8月22日(木) 参加者3名

講師：渡慶次正則(名桜大学教授)

テーマ：英語の教科化への準備

小学校における英語教育の背景と実践を学び、今後の授業に活かす。

＜参加者の感想から＞

- ・少人数で実際に授業で生かすことができる活動を体験できました。
- ・Teachers Talk のアクティビティを体験し、自分にとってはオールイングリッシュについていくのに必死でしたが、それが新鮮で刺激があった。自身の英語力Upは必須と感じた瞬間！
- ・大学教授からの専門的知識(臨界期仮説等)を得ることができました。今後、英語を学び、また、他職員と共有していく中で根拠をもって話すことができると思いました。
- ・年齢と第2言語習得について、理論的な話を聞いたのがよかった。もっと詳しく知りたいと思いました。こういう理論を学んでいくことが、小学校から外国語を学ぶ意義を理解し、授業をつくる、授業に向かう姿勢のベースとなると感じました。





## ◆「小学校外国語活動」講演会

8月18日(日) 講師：金森 強 (文教大学教授)

会場：北部生涯学習推進センター

概要：コミュニケーションの基本は伝えたい気持ちを持つことであるという。目的があると言葉は使える。誰が何のために、どんなことを、といったことを意識させる。小学校の外国語の授業においては、例えば色を見せて考えたこと、感じたことを言わせることが大事で、これがいわゆる即興性である。表現する楽しさを味わわせること。低学年でネイティブによる本物の英語を聞かせることも大切である。



＜参加者の感想＞ 参加者 12 名

- ・「言葉の楽しさ」「伝えたいと思えるような工夫」他にもいっぱい学べることができました。(すぐ使えそうなことばかりでした。)
- ・これから子どもたちに「ことばの楽しさ」を教えることができる外国語活動ができるよう意識しないといけないと思った。
- ・思いや考えを大切にしたい授業実践を心がけた。考えたことを英語で言うたのしさ。
- ・発話量ではなく、自分で考えたことを子ども自身が話せたかということをしっかりみるのが大切という部分が勉強になりました。
- ・2学期からの授業作りに早速活かしていきたいと思います。意味のある言語活動、考え判断して行う言語活動を設定していこうと思います。
- ・金森先生の講話で改めて聞くことの大切さを実感しました。
- ・言葉にイメージをもたせて、広げたり、ふくらませてそれらを楽しむ活動を考えたいです。
- ・英語がコミュニケーションの手段となることをアクティビティーからも感じた。子どもたちと体感できるようがんばりたい。
- ・「言葉の教育」・想いをのせる・・・子どもたちの想いを大切にしたいです。音声指導、聴くことをたくさんとり入れたいです。

## ◆部活動指導者研修会【中高情報交換会】

7月31日(水) 14:00～17:00

講師：宮城政也 (琉球大学教育学部教授)

辺士名斉朝 (コザ高等学校 教諭)

テーマ「現代社会におけるスポーツ指導の在り方・競技力向上と可能性へのチャレンジ」

講演① 宮城政也教授

- ・現在求められる指導者の役割
- ・ジュニア期のスポーツと道徳性の発達
- ・体育系学生と就職 ・体罰における世界の動向
- ・コミュニケーションとストレス

講演② 辺士名斉朝教諭

- ・ラグビー競技における競技力の向上
- ・学び続けることの大切さ ・研究と実践の往還

○中高部活動指導者情報交換会

- ・競技別にグループを作り、各種目の現状と課題、特色ある取組等を紹介し連携を図った。
- ・情報交換会のまとめとして、北山高校駅伝部監督から「中学校期の指導方法」や「夏の陸上・駅伝の練習での暑さ対策」についてのアドバイスや実践例を聞くことができた。



＜参加者の感想＞ 参加者 48 名

- ・全中高必ず1人は教員に参加してもらわないと深い交流ができないのではないかと感じた。
- ・動機付けの段階等、声掛け配慮のポイントや固定観念のクイズ等、はっとする内容が面白かった。
- ・中・高の教師との情報交換がとても良かった。
- ・「人間性」自身の教育は難しいが、部活動を通して心理的スキル、高い教育効果が期待できる。実践していきたい。一人ひとりの課題克服への的確なアドバイス。
- ・スポーツの指導を取り巻く世界情勢を知ることができて、とても参考になりました。物理的な暴力だけでなく、言葉の暴力も子どもの発達に大きな影響を及ぼすことを再確認できた。

## ◆ 教科研究会

### (1) 中学校英語教諭研修会

崎浜功美(今帰仁中教諭)・渡慶次正則(名桜大学教授)

4月24日(水) 北部生涯学習推進センター

テーマ「英語スピーキング評価基準表の作成と評価」

概要：崎浜教諭が名桜大学大学院修士課程で英語スピーキングにおける評価基準表の作成と試行について研究し、その活用について中学校英語科教諭に紹介した。

タスクを基に「話す」内容を、○言語機能(トピック)、○発音、矯正・イントネーション、○正確さ、○語彙、文型・複雑さ、○流暢さ(態度)等に分類し、それぞれのレベルに応じた評価基準を設けた。数年前からの試行錯誤の結果、評価の客観性など評価者による差があり、また評価に時間がかかる、という反省もあった。今後継続して研究していく必要があるとの報告であった。

補足・指導助言(渡慶次正則名桜大教授)

CEFRとACTFLという言語運用能力基準についても解説し、いかに多くの内容を会話に盛り込めるか、会話の流暢さ、英語の総合力としての「スピーキング」が大切になってくるとの助言であった。



＜参加者の感想より＞ 参加者 7名

- ・CEFRやACTFLなど、世界共通のスタンダードを良い点と課題点を挙げながら実情に合わせて検証されているので、今回提示された評価基準は信頼性があると感じています。
- ・「英語をペラペラ話せるようになりたい」という生徒がほとんどです。スピーキングの指導・評価にしっかり取り組んでいこうと思いました。「慣れが自信になる」という渡慶次教授の言葉を授業の中で実践できるようにしていきたいです。
- ・スピーキングテストの評価基準があれば現場の先生方も助かると思う。音読がスラスラできる人は早くしゃべれるようになる。
- ・今回の研究の成果である基準表を互いに理解したい。そして、スピーキングテストのタスクについても検討し、生徒の力を少しでも正確に測る工夫をしたい。

### (2) 小学校プログラミング勉強会

7月29日(月) 北部生涯学習推進センター

講師：中里収、佐久本功達、天願健、学生TA  
(名桜大学情報システムズ専攻教授等)

概要：小学校の先生方を対象にプログラミング研修会を開催。IT技術の進化によって未来はどうなっていくのか、を皮切りに小学校プログラミングはなぜ導入されるのか。プログラミング教育のねらい、プログラミング教育で育む資質・能力、プログラミング的思考と情報活用能力、プログラミング教育の評価、プログラミング教育をどう進めていくか等を具体的に丁寧に説明して頂いた。

また、「ビジュアルプログラミング Scratch(スクラッチ)」のソフトを体験し、ゲーム感覚で楽しくプログラミングを学べる体験を行い、授業への導入の足掛かりとなった。さらに、新しく導入されるプログラミング教育の内容の理解や体験をすることによって導入時の不安を解消し、授業改善に活かせる内容であった。



＜参加者の感想から＞ 参加者 20名

- ・自分自身の苦手意識が取り除かれました。スクラッチのソフトは解りやすく、これを入りに始めたいと思います。
- ・学級の児童のプログラミング入門に使いそうです。子ども達と一緒に頑張ります。
- ・プログラミングは全く知らなくて、今回の研修に参加して事例を知り、体験できたので今後に活かせそうです。
- ・プログラミング教育で児童に何を教えたらいいいのか知ることができてよかった。
- ・県外の実践も少しですが知ることができてよかった。実際にスクラッチソフトの体験ができ、子供たちと楽しめそうだと実感しました。
- ・プログラミング教育が必修化されるという事で、これからの未来やプログラミング的思考について詳しく教えていただき、また、スクラッチという教材でプログラミングを体験できてよかった。



### (3) 算数・数学研究会

担当：大城覚、高安美智子(北部教育研修センター教員)

本研究会は、北部教育研修センターの開所時に発足し2019年8月に実施された第101回全国算数・数学(沖縄)大会への参加を目標に研究を進めてきた。研究会メンバーも含め本地区からも8本の研究成果を発表することができた。

◆8月19日(月)

#### 「北部地区算数・数学授業研究会」

～小・中・高・大 校種間交流～

会場：北部生涯学習推進センター

趣旨：小・中・高・大の算数・数学教育における成果と課題等を共有し、校種を超えた教員の刺激と意欲を生み出す機会とするため、「算数・数学校種間交流」を企画した。このような校種連携した指導の研究会を発展させることにより、児童生徒の算数・数学の学力向上への足がかりとすることを目的とした。

概要：第一部

第101回全国算数・数学研究(沖縄)大会での研究発表と高等学校での数学指導の実践報告を行った。会場を二カ所に分けて4本ずつ発表してもらった。発表内容は以下の通りである。

- (1) 算数的活動における言語力の育成  
(大宮小学校・嶺井政次先生)
- (2) 見方・考え方を育てる授業づくり  
(東江小学校・豊里拓人先生)
- (3) 近隣校における合同教科研究会  
(名護中学校・仲村晶子先生)
- (4) 証明の必要性を感じさせる指導の工夫  
(東江中学校・親川将志先生)
- (5) 対話的な学びを通して学習意欲を高める工夫  
(本部中学校・小路 毅先生)
- (6) 高等学校の現状と課題  
(名護高等学校・知念豪一郎先生)
- (7) 高等学校の現状と課題  
(宜野座高等学校・漢那佐智子先生)
- (8) 数学的リテラシーの育成を目的とした自然科学  
特別講義「統計学基礎」の取組  
(名桜大学・高安美智子先生)

第二部：2つの会場の内容の報告をそれぞれの司会を務めた池原健太指導主事と宮城政樹大宮中学校教頭に行ってもらった。その後、司会の大城先生から先進地域の事例報告があり、最後は校種を超えたグループを作成し、グループ協議を行った。



#### ◆第1会場



#### ◆第2会場



<参加者の感想から> 参加者 20 名

- ・小から大まで、弱点は同じなので、どの課題を解決できるか各学校での取り組みが学べた。
- ・校種間交流ができたこと。他校種(特に高校)の取り組みを聞く機会はありませんので、とても良かったと思います。グループ協議の時間は、とても有意義でした。
- ・小・中・高・大の校種間情報が聞けて良かった。
- ・異校種で同教科が集まることで、タテ意識をもって数学を考えることができたこと。
- ・まずは私達教員が数学を楽しみ、それを生徒に伝えていくことが大切だと感じました。小学校での見方・考え方を重視した授業や中学校での「問い」を生む授業、自己肯定感を高めるためのペア学習など様々な授業実践を聞くことができたので、今後の研究に活かしていきたい。
- ・他校種の学習の仕方や悩みなどを知ることができ共通することや小学校でやらなければならないことが見えた。

<企画者から>

北部地区の児童生徒の学力問題、とりわけ算数・数学の課題が深刻であることと、系統性の強い教科であることから、校種間の連携による取り組みが必要であるということで開催した。参加者が少なかったことは残念であった。

## 2019年度 管理職マネジメント研修会

### — 新しい時代に対応できる管理職を目指して —

本センター実証実験事業では、北部地区の教育課題の改善に向けて、本年度は管理職研修を実施することで「チーム学校」の力を向上させることを目指しています。新しい時代を生き抜く子どもたちを育成するためには、教員・管理職・保護者・地域・行政の全ての人に学び続ける力が求められています。

**【校長研修会】** 会場：北部生涯学習推進センター  
 日時：7月8日（月）13:00～14:45  
 対象：小学校・中学校・特別支援学校校長  
 内容：マネジメント研修「構想」  
 講師：日渡円（兵庫教育大学特別教授）

#### 兵庫教育大学管理職マネジメント研究会

目的：AIや5Gという言葉が示すように科学技術が急速に進歩する中、教育環境も大きく変化している。よりよい学校経営を行うために校長としてのリーダーシップやマネジメント力など管理職として必要な資質・能力を講義(理論)と演習(実践)で培う。  
 内容：この研修は、校長に必要な「応用力」について対課題面の力を学ぶ研修である。現状を把握し、ありたい姿(目的や目標)を設定し、「方策」を決定する演習である。「応用力」なので意識を変え、「学び続ける」ことが大切である。  
 参加者数：15名 参加率 20.8%

#### ＜参加者の感想から＞

- ・学校経営ビジョンをしっかりと理解したい。校長の教育理念を「目的・目標」とおさえ、具現化までの道筋を分かりやすく提示したい。
- ・国、県、市町村の教育施策の方針を受け、地域や保護者の思いを受けとめ、校長としての教育観をしっかりと持つことの意義を今一度、考え整理してみたい、と痛感しました。
- ・柔軟な発想の必要性を感じました。
- ・リーダーとして、成果を出さなければならない。
- ・常に学び続ける姿勢が必要であることをあらためて思いました。次は積極的に研修に申し込みたい。



**【教頭研修会】** 会場：北部生涯学習推進センター  
 日時：7月8日（月）9:00～12:00  
 対象：小学校、中学校、特別支援学校教頭  
 内容：新時代対応学校管理職マネジメント研修「分析」  
 講師：日渡円（兵庫教育大学特別教授）

#### 兵庫教育大学管理職マネジメント研究会

目的：学校組織や学校運営体制の見直し、新たな課題への対応、校務分掌組織の改善等についての提言、教職員一人ひとりの能力を十分に発揮させることのできる組織作りの提案等を行うことができる力量を高める。



参加者数：17名 参加率 23.6%

#### ＜参加者の感想、やってみたいこと＞

- ・管理職としての資質向上が必要だと感じています。今回の研修後の構想→判断までさらに研修を受けたい。
- ・学校教育の責任、管理職としての自覚と責務
- ・学校の課題をしっかりと追究していくこと、なかなか変化が見られないことをそのままにするのではなく、しっかりと分析することの大切さを知りました。また、学校の良い面もしっかりとらえていくことの大切さを感じました。
- ・管理職の「思考」を変えること。
- ・原因を分析するときのロジックツリーを全教職員で考えてみたい。
- ・校内研修などで「分析の仕方」を掘り下げる研修として取り入れられるよう検討したいです。
- ・原因を分析するときのロジックツリーを全教職員で考えてみたい。
- ・管理職としての経験や知識を学ぶこと。



### 【管理職養成ミドルリーダー研修会】

日時：8月22日（木） 15：00～16：30

講師：高安美智子センター長（名桜大学教授）

会場：北部生涯学習推進センター 参加者数：14名

テーマ「教育は未来への投資！」

目的：ミドルリーダーとして学校経営に参画し、学校課題を解決するための方策について演習を通して研修し、将来の管理職の育成に繋げる。

内容：1.ミドルリーダーへの期待

2.ミドルリーダーに必要な資質・能力

3.自分の教育実践を語る力が自分のキャリアになる

4.演習 自校の良い所、課題を書き出し発表、解決策を話し合う。



#### ＜参加者の感想から＞

- ・誰かが地域の教育を担わなければいけない、という事を感じました。校長、教頭をサポートし、学校経営に積極的に参画したい。
- ・管理者と先生方のベクトルを1つにすることの大切さを学んだので、意識して取り組みたい。
- ・「なぜ勉強しなくちゃいけないの？」と子どもに聞かれたとき、うまく答えることができなかったが、今日、たくさんのヒントをいただきました。
- ・子ども達のために責任をもって成果を上げることが大切！！
- ・グループディスカッション、本校、他校のいい所、課題を通してみえてきた全体課題や解決策等を2学期に生かしていきたいと思いました。
- ・高安先生の講話で自分の人間性を高めることの目標を見つけることができました。
- ・これからは、学校全体にも目を向け、より、いっそう後輩の育成も意識し、とりくんでいくことができたいと思いました。
- ・「人は人の心で動く。先生方のしかけで子どもが変わる。」すばらしい言葉と理念をありがとうございます。スキルアップしたくなりました。
- ・管理職に対しての意識が高まった。
- ・今後、自分の目指す方向性が見えた。

### ★これまでの研修結果から

- ①参加する教職員の多い学校と少ない学校の二極化が見られます。
- ②昨年度の要望には「夏期休業中ならゆとりがあり、参加やすい」という意見がありました。しかし、夏期休業中に入っても参加しにくいという意見も聞かれます。
- ③児童生徒の確かな学力の向上には、教職員の研修が必要だと認識し、さらに内閣府の補助事業としての実証実験であることを共通理解する必要があります。

○受講者からは、次のような意見があります。

- ・こんな研修があるなんて知らなかった。
- ・もっと周知して欲しい。多くの先生方に聞いて欲しい内容であった。参加して欲しい。
- ・「もっと教師自身が勉強しないといけない」、「研修の必要性が解りました」
- ・「こんなにすごい全国レベルの研修なのに参加者が少なくもったいない。」等

### ★研修を終えて企画者の感想

研修後にいつも考えるのはもっと多くの先生方に参加欲しいということです。これまでの講演や公開授業、その他の研究協議等、いずれも得るものが多く、自分自身のスキルアップやモチベーションアップに繋がっていることを実感しています。豊かな気持ちになります。参加しないと研修のよさも必要性もわかりません。ミドルリーダー研修会も、主体的に参加した方、管理職に勧められた方、個別の呼びかけに対応してくれた方、様々ですがアンケート結果からほとんどが肯定的意見を寄せています。これからの教員、管理職を育てるのが、現在の管理職の使命ではないでしょうか。

管理職の学ぶ姿が、教職員の心を揺さぶり、教職員の学びが職務能力の向上と子ども達への教育補償に繋がると考えられます。管理職には、教職員に対しての研修への参加要請、さらに管理職の率先垂範に期待しています。次代の管理職を育てるトップリーダーとして職員育成に積極的になることが求められています。

## 2019 年度 北部教育研修センター事業(1 学期の研修)実施報告

|            | 期 日         | 事 業 内 容                                              | 講 師                              | 参加人数 |
|------------|-------------|------------------------------------------------------|----------------------------------|------|
| 1          | 4 月 24 日(水) | 中学校英語教諭研修会<br>英語スピーキング評価基準表学習会                       | 渡慶次正則(名桜大学教授)<br>崎浜功美(今帰仁中教諭)    | 7    |
| 2          | 5 月 28 日(火) | 算数・国語ビデオ学習会                                          | 市川伸一先生(東京大学教授)<br>DVD            | 10   |
| 3          | 6 月 2 日(日)  | 保育士・幼稚園教諭研修会<br>講演・演習                                | 園原 實(国頭村教育長)<br>立川有寿子(保育コンサルタント) | 104  |
| 4          | 6 月 11 日(火) | アクティブラーニング公開授業<br>【美術】                               | 田仲浩美(国頭中学校教頭)                    | 9    |
| 5          | 6 月 18 日(火) | 菊池先生のビデオ鑑賞会<br>天底小学校 国語 公開授業                         | 菊池省三先生公開授業 DVD                   | 10   |
| 6          | 7 月 1 日(月)  | スーパーティーチャー公開授業・講演<br>今帰仁中学校(理科) 生徒向け講演<br>公開授業・授業研究会 | 小玉宏先生<br>(元宮崎県教育委員会指導主事)         | 36   |
| 7          | 7 月 2 日(火)  | スーパーティーチャー公開授業・講演<br>金武中学校(理科)・生徒向け講演会<br>公開授業・授業研究会 | 小玉宏先生<br>(元宮崎県教育委員会指導主事)         | 16   |
| 8          | 7 月 3 日(水)  | スーパーティーチャー公開授業<br>伊平屋中学校(理科)<br>公開授業・授業研究会           | 小玉宏先生<br>(元宮崎県教育委員会指導主事)         | 11   |
| 9          | 7 月 4 日(木)  | スーパーティーチャー公開授業・講演<br>伊是名中学校(理科)<br>公開授業・生徒向け講演       | 小玉宏先生<br>(元宮崎県教育委員会指導主事)         | 11   |
| 10         | 7 月 7 日(日)  | スーパーティーチャー招聘事業<br>講演会: 中嶋洋一(関西外国語大学)                 | 中嶋洋一(関西外国語大学教授)                  | 19   |
| 11         | 7 月 8 日(月)  | スーパーティーチャー公開授業<br>恩納中学校(英語) 授業研究会                    | 中嶋洋一(関西外国語大学教授)                  | 43   |
| 12         | 7 月 8 日(月)  | 管理職マネジメント研修<br>午前 教頭(分析)                             | 日渡 円<br>(兵庫教育大学特別教授)             | 15   |
| 13         | 7 月 8 日(月)  | 管理職マネジメント研修<br>午後 校長(構想)                             | 日渡 円<br>(兵庫教育大学特別教授)             | 17   |
| 夏季休業前の参加人数 |             |                                                      |                                  | 308  |

↓ 中嶋洋一先生の講演資料より、study と learn の違い

## study

I have **studied** English for three years,  
but I didn't **learn** anything.

- かけた時間と努力だけ  
できるようになったかどうかは  
わからない。
- ノート等を見ながら発表する。

## learn

- 自分の力だけでできる。
- 自分の言葉で説明できる。
- 何も見ないで説明できる。




### 中1の「自己表現ノート」より

アメリカの話 アメリカ人の好きな食べ物

What food do American like?

1位 hamburger. There is a hamburger.

2位 cheeseburger. There is a cheeseburger.

Japanese pizza is small. There is a pizza.

There is a sandwich.

Oh-no? There are three doughnuts.

There are three...

よくとれる果物 ベスト 4

1位 orange (オレンジ) There are two oranges.

2位 grape (ぶどう) there is a big grape.

3位 apple (りんご) there is an apple.

4位 grapefruit (グレープフルーツ) There is a grape fruit.

There are a lot of big watermelons in American.



## ◆夏期休業期間中の研修実施報告

|                              | 期 日      | 事 業 内 容                                       | 講 師                            | 参加人数  |
|------------------------------|----------|-----------------------------------------------|--------------------------------|-------|
| 14                           | 7月26日(金) | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(算数・数学)                      | 高安美智子（センター長）                   | 6     |
| 15                           | 7月26日(金) | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(国語)                         | 久高利美子（東江中校長）                   | 1     |
| 16                           | 7月26日(金) | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(中高英語)                       | 渡慶次正則（名桜大学教授）                  | 2     |
| 17                           | 7月29日(月) | 小学校プログラミング研修会                                 | 中里収先生・佐久本功達<br>天願健・学生(名桜大教授、他) | 20    |
| 18                           | 7月30日(火) | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(小学校理科)                      | 伊芸 剛（大宮小教頭）                    | 4     |
| 19                           | 7月30日(火) | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(小学校社会)                      | 森元幹生（金武小校長）                    | 3     |
| 20                           | 7月31日(水) | 部活動指導者研修会<br>（中高連携情報交換会）                      | 宮城政也（琉球大学教授）<br>辺土名斉朝（コザ高校教諭）  | 51    |
| 21                           | 8月1日(木)  | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(養護教諭)                       | 荻堂かおり（名護中養護教諭）<br>新城 敦（研修センター） | 1     |
| 22                           | 8月1日(木)  | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(保健体育)                       | 大城正章（今帰仁中校長）<br>新城 敦(研修センター)   | 6     |
| 23                           | 8月1日(木)  | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(中高社会)                       | 山入端きよみ（元校長）                    | 7     |
| 24                           | 8月5日(月)  | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(小学校・国語)                     | 小波津京子（名護小教頭）                   | 2     |
| 25                           | 8月5日(月)  | 臨時的任用教員研修<br>模擬授業(小学校・算数)                     | 大城 寛（研修センター）                   | 4     |
| 26                           | 8月17日(土) | 特別支援教育セミナー<br>「難しい保護者への対応とチーム支援」              | 栗原愼二<br>(広島大学大学院教授)            | 25    |
| 27                           | 8月18日(日) | 小学校外国語活動研修会<br>「小学校段階にふさわしい言葉の教育<br>としての英語指導」 | 金森 強（文教大学教授）                   | 12    |
| 28                           | 8月19日(月) | 算数・数学<br>校種間交流研修会                             | 高安美智子（センター長）<br>大城 寛（研修センター）   | 20    |
| 29                           | 8月20日(火) | スーパーティーチャー講演会<br>道徳教育                         | 上地完治（琉球大学教授）                   | 126   |
| 30                           | 8月21日(水) | 中学校夏季英語研修会                                    | 渡慶次正則（名桜大学教授）                  | 5     |
| 31                           | 8月22日(木) | ミドルリーダー研修会<br>管理職養成                           | 高安美智子（センター長）                   | 14    |
| 32                           | 8月22日(木) | 小学校夏季英語研修会                                    | 渡慶次正則（名桜大学教授）                  | 3     |
| ↓ミドルリーダー研修会にて、本校の良い所＆課題を出し合う |          |                                               | 夏季休業中参加合計                      | 約 307 |



| 番 | 期 日          | 時 間                       | 対 象         | 事業名・講師・内容                                                 | 場 所                      |
|---|--------------|---------------------------|-------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------|
| ① | 9/6<br>(金)   | 16:00~17:30               | 中学校<br>英語   | 中学校英語教諭研修会<br>英語スピーキング評価基準表学習会<br>講師:崎浜功美(今帰仁中教諭)         | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ② | 延期           | 日程調整中                     | 中学校<br>英語   | アクティブラーニング合同授業<br>名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業                      | 伊江村立<br>伊江中学校            |
| ③ | 9/20<br>(金)  | 14:55~16:45               | 全校種         | スーパーティーチャー招聘事業<br>講師:菊池省三先生【小学校6年生 道徳】                    | 名護市立<br>名護小学校            |
| ④ | 9/26<br>(木)  | 9:25~10:10                | 小学校<br>外国語  | アクティブラーニング合同授業<br>名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業                      | 伊是名村立<br>伊是名小学校          |
| ⑤ |              | 日程調整中                     | 小学校<br>外国語  | アクティブラーニング合同授業<br>名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業                      | 東村立<br>東小学校              |
| ⑥ | 10/4<br>(金)  | 9:00~12:00<br>13:00~16:45 | 教 頭<br>校 長  | 管理職マネジメント研修会③④<br>教頭対象(構想)兵庫教育大学<br>校長対象(企画)マネジメント研究会     | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑦ | 10/18<br>(金) | 14:30~16:45               | 数学全<br>校種   | スーパーティーチャー招聘【公開授業】<br>教科:数学 玉置崇先生(岐阜聖徳学園大学)               | 名護市立<br>大宮中学校            |
| ⑧ | 10/25<br>(金) | 14:15~16:45               | 養護<br>教諭    | 養護教諭・安全担当研修会<br>講師:宮本香代子先生(岡山大学 教授)<br>:神田奈津子先生(名桜大学 准教授) | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑨ | 10/29<br>(火) | 14:45~16:45               | 国語<br>全校種   | アクティブラーニング研修会【公開授業】<br>講師:石川清一先生(本部中学校校長)                 | 国頭村立<br>国頭中学校            |
| ⑩ | 11/2<br>(土)  | 14:00~16:30               | 全校種         | スーパーティーチャー招聘事業<br>特別支援教育講演会<br>講師:川上康則先生(東京都立矢口特別支援学校)    | 名桜大学サク<br>ラウム3階<br>大講義室A |
| ⑪ |              | 日程調整中                     | 小学校         | 小学校プログラミング演習<br>講師:中里 収先生(名桜大学教授)<br>佐久川功達先生(名桜大学教授)      | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑫ |              | 日程調整中                     | 小学校         | 小学校外国語講座①②<br>講師:タン・エンハイ先生(名桜大学教授)<br>玉城本生先生(名桜大学助教)      | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑬ | 1/20<br>(月)  | 9:00~12:00                | 校長          | 管理職リーダーシップ研修会③<br>校長対象(組織を見る)<br>講師:日渡円(兵庫教育大学特別教授・他)     | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑭ | 1/20<br>(月)  | 13:00~16:45               | ミドル<br>リーダー | ミドルリーダー対象(情報収集)<br>講師:兵庫教育大学(日渡円特別教授・他)                   | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑮ | 1/22<br>(水)  | 15:00~16:45               | 全校種         | アクティブラーニング実践報告会<br>講師:相川輝明先生(兼次小)<br>上間哲朗(今帰仁村教育委員会CC)    | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑯ | 2/18<br>(火)  | 13:50~16:45               | 保健<br>体育    | アクティブラーニング研修会【公開授業】<br>講師:玉城 学先生(久辺中学校教頭)<br>保健体育【空手】     | 名護市立<br>久辺中学校            |
| ⑰ | 3/12<br>(木)  | 14:30~16:45               | 全校種         | 新規採用予定者研修会①<br>教師の心構えと学級開き                                | 北部生涯学習<br>推進センター         |
| ⑱ | 3/25<br>(水)  | 14:30~16:45               | 全校種         | 新規採用予定者研修会②・臨時的任用教員<br>3/12に参加出来なかった者<br>教師の心構えと学級開き      | 北部生涯学習<br>推進センター         |

※後期日程は9/5時点のものです。

今後、追加や変更もありますのでご留意ください。

#### 編集後記

研修会参加者の意見や感想から成長していく教師の姿を観ることができ、研修の大切さを強く感じさせられました。今後も共に考え学び合える研修会を企画していきたいと思います。研修のよさは参加しないと気づきません。